

事業番号	09 05 09	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特定鳥獣生息状況調査事業費			担当課	部局	林務部
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	森林づくり推進課野生鳥獣対策室	
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進		E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H12 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<p>個体数の増加や分布域の拡大により、著しい農林業等の被害や生態系のかく乱を引き起こしている鳥獣及び生息環境の悪化や分断等により、地域個体群として絶滅の恐れが生じている鳥獣を対象として、科学的、計画的な保護管理により地域個体群を安定的に維持しつつ、被害の軽減を図ることを目的として特定鳥獣保護管理計画(5年間計画)を策定している。</p> <p>本県では、ニホンジカ、ニホンカモシカ、ツキノワグマ、ニホンザル、イノシシの5種について策定しており、生息調査等による現状分析と、定期的なモニタリングに基づき科学的な評価を行い、見直しにフィードバックさせ、特定鳥獣保護管理計画を更新して行く。</p>	
現状	<p>◆ニホンザル(H24調査) ◆イノシシ(H25調査計画) ◆ニホンカモシカ(H26調査予定) ◆ニホンジカ(H27調査予定) ◆ツキノワグマ(H28調査予定)</p> <p>※カモシカは国の特別天然記念物に指定されており、毎年モニタリングを実施(文化庁補助 補助率2/3)</p>	

県が関与する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 左記の説明、根拠法令等 「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」第7条に規定
----------	--	--

事業内容	① 成果目標(H24)					
	<p>◆カモシカ個体群動向調査 1件 特定鳥獣保護管理計画(カモシカ)年次計画のうち、捕獲計画策定の基礎資料とするため、捕獲個体を調査・分析し、個体群の動向を把握するとともに、捕獲による個体群への影響を把握する。</p> <p>◆ニホンザル生息状況調査 1件 第3期(H26~H30)特定鳥獣保護管理計画(ニホンザル)策定のため、全県的な分布、生息等の動向を調査する。</p>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H24事業実績		H24	H25
				(当初)	(決算)	(当初)
	1、カモシカ個体群動向調査	委託	捕獲されたカモシカ個体の標本及び記録を回収し、カモシカ個体群の年齢構成及び個体群ごとの年齢推定、オス・メス比率、年齢別妊娠率並びに今後の動態等についての分析調査	5,760	5,145	5,400
	2、ニホンザル生息状況調査	委託	アンケート及び聞き取り、目撃・捕獲情報、現地調査により生息の分布状況、群の数・行動域等を調査し、県内のサルの群の数及び生息頭数を推定	6,080	3,610	0
			合計	11,840	8,755	5,400

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越				
	当初予算			11,840	5,400
	補正予算			-1,600	
	合計(A)	0	0	10,240	5,400
	国庫支出金			3,840	
	県債				
	その他()				
	一般財源	0	0	6,400	5,400
	決算額(B)			8,755	5,400
概算人員数(人)			1.00	1.00	
概算人件費(C)	0	0	8,258	8,258	
概算事業費(B+A+C)	0	0	17,013	13,658	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25目標
		目標	成果	達成状況	
カモシカ動向調査	1	1	1	達成	1
ニホンザル特定計画調査	1	1	1	達成	-

目標に対する成果の状況	<p>目標した調査を実施することが出来た。この調査結果を踏まえ、平成25年度に検討する第3期特定鳥獣保護管理計画(ニホンザル)の基礎資料とする。また、カモシカ動向調査については、特別天然記念物カモシカの生息動向を把握して、毎年の年次計画に反映させる。</p>
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>特定鳥獣保護管理計画の策定には、鳥獣の生息状況調査が不可欠であるため、今後もニホンジカ、カモシカ、ニホンザル、ツキノワグマ、イノシシの生息状況調査を継続していく。</p>